

2022 年度前期授業アンケート集計結果（全体的特徴）

	2022 年度前期				2021 年度前期			
	教員数		講義数		教員数		講義数	
	対象	実施	対象	実施	対象	実施	対象	実施
専任	66	66	188	182	68	67	188	185
非常勤	52	50	90	86	54	54	101	101
総合計	118	116	278	268	122	121	289	286

※看護学部実習科目については、別アンケートを実施しています

【属性】

アンケートに答えた学生（延べ回答者数）の内訳は、次表のとおり

学部学科別人数・構成比			
学部	学科	人数	構成比
経済学部	経済学科	828 名	13.9%
	公共政策学科	428 名	7.2%
経営学部	スポーツ経営学科	2082 名	35.1%
	情報メディア学科	883 名	14.9%
看護学部		1717 名	28.9%
計		5938 名	100.0%

学年別人数・構成比		
学年	人数	構成比
1 年次	2347 名	39.5%
2 年次	1753 名	29.5%
3 年次	1434 名	24.1%
4 年次	365 名	6.1%
5 年以上	39 名	0.7%
計	5938 名	100.0%

学部学科別人数・回答率			
学 科	受講人数	回答人数	回答率
経済学科	1953 名	828 名	42.4%
公共政策学科	1287 名	428 名	33.3%
スポーツ経営学科	5487 名	2082 名	38.0%
情報メディア学科	2494 名	883 名	35.4%
看護学部	2660 名	1717 名	64.5%
計	13881 名	5938 名	42.8%

延べ回答者数／延べ受講者数＝回答率

5,938／13,881＝42.8%（2021 年度前期：26.4%）

【授業アンケートの実施率と回答率】

○教員数でみた授業アンケート実施率（＝アンケート実施教員数／アンケート対象教員数）は 98.3%（＝116/118）で、昨年度前期 99.2%（＝121/122）と同水準であり、前回（昨年度後期）95.0%（＝113/119）より上昇した。うち、専任教員は 100.0%（＝66/66）、非常勤教員は 96.2%（＝50/52）である。特に専任教員は、授業アンケートの依頼に協力していただいたことが分かる。

○講義数でみた授業アンケート実施率（＝アンケート実施講義数／アンケート対象講義数）は 96.4%（＝268/278）で、昨年度前期 99.0%（＝286/289）より低下したが、前回（昨年度後期）72.6%（＝281/387）からは上昇した。うち、専任教員の講義は 96.8%（＝182/188）、非常勤の講義は 95.6%（＝86/90）である。講義内で教員からの授業アンケートの依頼が周知されていたと言える。なお、専任教員数でみた授業アンケート実施率よりも専任教員講義数でみた授業アンケート実施率が低下するのは、少なからず少人数講義があることに起因する。

○学生の回答率（＝延べ回答者数／延べ受講者数）は 42.8%であり、前回（前年度後期）アンケートの 9.7%から大幅に改善した。また、同時期（前期）の回答率は、授業アンケート収集方法がオンラインに移行した一昨年度前期が 35.7%、昨年度前期が 26.4%と減少傾向にあったが、今回は**オンライン収集となって最も高い回答率**であった。さらに、一昨年度前期はコロナ禍で遠隔授業を実施している中でのアンケート実施で、昨年度前期は対面授業が行われている中でのアンケート実施であり、その減少要因はオンライン収集アンケートへのアクセスが、対面授業よりも遠隔授業の方が容易であるためとの見解であったが、今回は昨年度と同様、対面授業が行われている中でのアンケート実施であるにも関わらず 16.4%上昇したので、**アンケート実施期間の授業形態が回収率に影響することはない**と考えられる。

○アンケート収集方法がオンラインになってから、今回が最も高い回答率となった要因は、前述の教員による協力もさることながら、**教務課が学生ポータル・Teams を通じて、適宜アンケート依頼・督促を行った**ことである。今後も、学生ポータル等を通じてアンケート依頼を複数回行うことを継続していく。

○学生の回答率がそれでも 42.8%に留まることは課題である。さらなる改善が必要であり、教授会やメール等での教員への協力依頼、学生ポータル等を通じたアンケート依頼の継続が必要である。そのため、今回のアンケート回収状況の分析を行うことが肝要である。

授業アンケートの設問 1～8.（「2022 前期設問」参照）の回答状況については「2022 前期全体集計表」を参照されたい。以下、一部に経年比較（対面授業であった昨年度前期との比較）を示して補足する。

設問 1.【板書・パワーポイント・資料は分かりやすいか（読みやすいか）】

○「とても分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合の合計は 71.1%であり、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合の合計 12.4%を大きく上回っている。昨年度前期アンケートの結果（「分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合は 70.7%、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合の合計は 9.6%）と比較すると、肯定的評価、否定的評価ともに微増となっている。

○自由記述では、「板書が的確で理解の整理をしながら受けることができた」「板書の字が大きく、図も見やすいのでとてもわかりやすかった」「パワーポイントを使った授業が多くて分かりやすかった」「穴あきパワーポイントで授業を進めたことが良かった」などの肯定的な感想が多い。これに対して、「黒板の字が少し小さいので大きくしてほしい」「わかりにくいのもう少し色つけた資料が欲しい」「授業資料が文字化けしているため、大変見辛い」などの否定的な感想も散見された。

設問 2.【教員の話し方・説明は分かりやすいか】

○「とても分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合の合計は 73.8%であり、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合の合計 12.0%を大きく上回り、昨年度前期アンケートの結果（「とても分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合の合計は 74.4%、「分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合の合計は 10.0%）と比較すると、否定的評価が微増となっている。

○自由記述では、「一つ一つ丁寧に説明してもらえるのでとてもわかりやすかった」「動画でわかりやすく説明したり、プリントにまとめたりしてわかりやすく授業を展開していた」などの肯定的な感想が目立つ。これに対して、「声が小さすぎて何を言っているのか分からない」「はっきり話してほしい」などの不満が依然としてある。各教員はこの感想を見ているはずであり、是非、真摯に改善してほしい。

設問 3.【授業内容がどの程度理解できるか】

○「とても良く理解できる」「ある程度理解できる」と回答した割合の合計は 76.1%であり、「全く理解できない」「あまり理解できない」と回答した割合の合計 7.2%を大きく上回り、昨年度前期アンケートの結果（「とても理解できる」「ある程度理解できる」と回答した割合の合計は 76.7%、「全く理解できない」「あまり理解できない」と回答した割合の合計は 7.9%）と比較すると、大きな変化はない。

○自由記述では、「小テストがあったため理解度を確認できた」など授業方法に関するものと、「熱意ある説明で理解しやすい講義だった」など教員の姿勢に関するものに分かれ、肯定的感想が多かった。特に、前回授業の振り返りをしてくれることに対する肯定的感想が多い。これに対して、「授業スピードが速く、内容についていけないのに、どんどん進んでしまうから理解できない」などの否定的意見もあった。

設問 4.【授業に集中するための環境（私語、遅刻、途中退室が無い状況等）は保たれているか】

○「とてもよく保たれている」「ある程度保たれている」と回答した割合の合計は 84.1%であり、「全く保たれていない」「あまり保たれていない」と回答した割合の合計 3.3%を大きく上回り、昨年度前期アンケートの結果（「とても保たれている」「ある程度保たれている」と回答した割合の合計は 82.7%、「全く保たれていない」「あまり保たれていない」と回答した割合の合計は 4.0%）から改善されている。

○自由記述では、「私語をする人達がいなく授業に集中して取り組めた」「私語に厳しかったので、集中して聞くことが出来た」などの肯定的な感想が目立つ。私語に対する教員の厳しさが求められていることが分かる。今回アンケートでは、「教室が暑すぎた」または「教室が寒くて集中できなかった」など、空調に関する指摘が散見された。

設問 5.【授業に意欲的に参加したか】

○「とても意欲的である」「ある程度意欲的である」と回答した割合の合計は 84.4%であり、「全く意欲的でない」「あまり意欲的でない」と回答した割合の合計 3.4%を上回り、昨年度アンケートの結果（「とても意欲的である」「ある程度意欲的である」と回答した割合の合計は 83.7%であり、「全く意欲的でない」「あまり意欲的でない」と回答した割合の合計

3.0%)と比較すると、肯定的評価、否定的評価ともに微増となっている。

○自由記述では、「毎回資料があり、課題があることで意欲的に取り組めた」など肯定的な感想があった。これに対して、「(出席確認が先生へのチャットであるため)出席していない学生が多くいて、毎回講義に参加しているのに、参加意欲がなくなる」という否定的な意見もあった。

設問 6.【授業に参加してどのように感じているか】

○「とても満足」「やや満足」と回答した割合の合計は 77.2%であり、「とても不満」「やや不満」と回答した割合の合計 5.6%を上回り、昨年度アンケートの結果（「非常に満足」「まあまあ満足」と回答した割合の合計は 77.3%、「非常に不満」「やや不満」と回答した割合の合計は 4.9%）と比較すると、否定的評価が微増となっている。

○自由記述では、「授業中にペアワークをするなど、さまざまな場面で満足することが多く感じた授業だった」「前回の復習をしてくれるので満足している」「ポイントがあることによってどこ復習したらいいだろうという悩みがなく満足」など、授業方法に関する肯定的な感想が多い。これに対して、「授業には毎回遅刻するなど不満は多かった」「できて当たり前、全員が分かっているといった前提で授業を進めている時があり不満」とする否定的な感想が 5 件あった。

設問 7.【予習・復習を毎回平均してどの程度行っているか】

○「1 時間以上」「30 分～1 時間程度」「30 分未満」と回答した割合の合計、すなわち予習・復習を行っている割合は 67.6%であり、「ほとんどしない」と回答した割合は 32.4%であった。昨年度アンケートの結果（「1 時間以上」「30 分～1 時間程度」「30 分未満」と回答した割合の合計は 66.2%、「ほとんどしない」と回答した割合は 33.8%）と比較すると、大きな変化はない。

○「ほとんどしない」と回答した学科間割合は、看護学科（13.3%）、情報メディア学科（27.0%）、経済学科（33.3%）、スポーツ経営学科（46.8%）、公共政策学科（47.4%）である。ほとんど予習・復習を行っていない割合が多い学科は、学科会議等で対応されたい。

設問 8.【学生の理解を確認しながら授業が進められているか】

○学生の理解が「確認されていない」と回答した割合は約 7.7%であり、昨年度アンケートの結果の 13.2%から大きく改善された。複数回答可の選択においては、「小テストや課題」（35.2%）や「前回の振り返り」（33.1%）による理解確認の方法が多かった。

○「小テストや課題」「前回の振り返り」が、設問 6.【授業内容がどの程度理解できるか】、設問 8.【授業に意欲的に参加したか】、設問 9.【授業に参加してどのように感じているか】の評価に関係することが、自由記述から読み取れる。

以上